

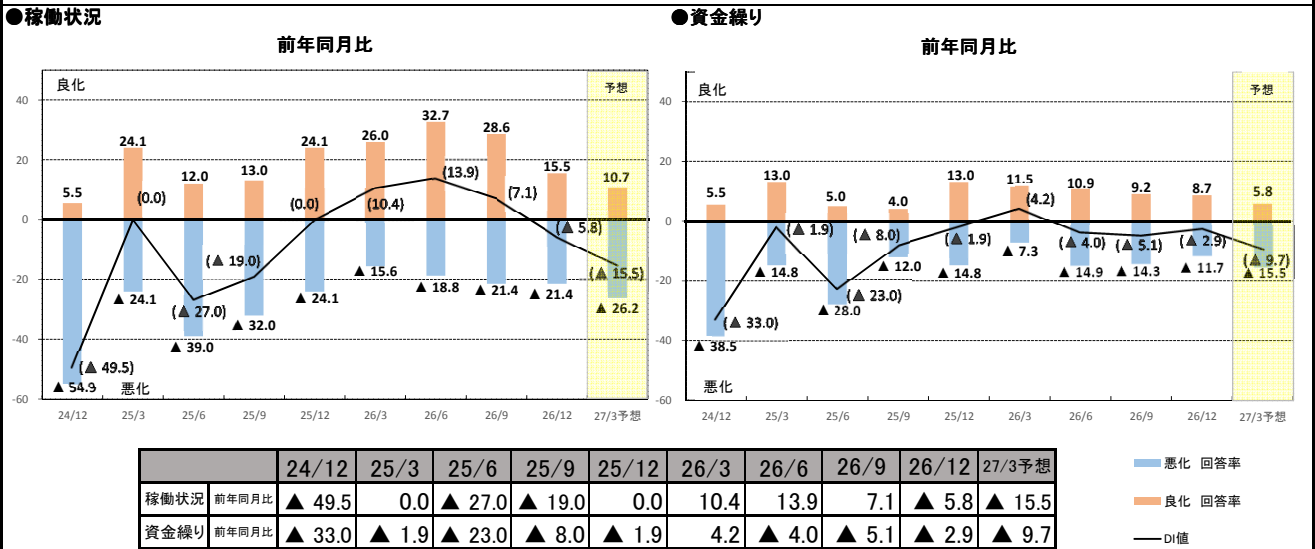
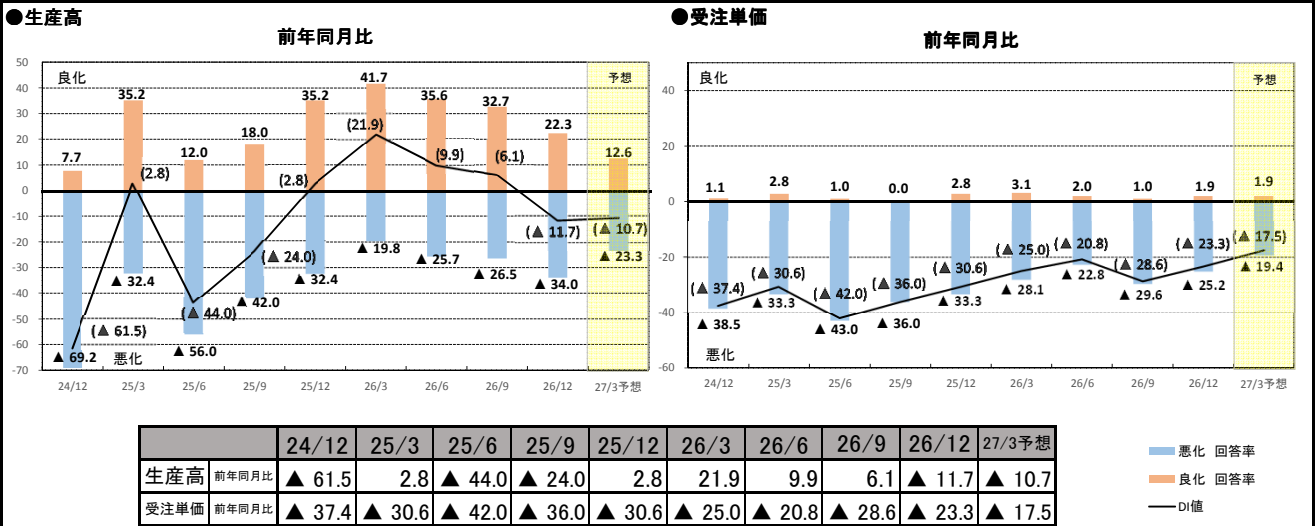
受注企業動向調査結果

-2015.2-

- 調査時点 平成26年12月調査(平成26年12月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 103社(回答率:68.67%)

プラスチック	6社
鉄鋼・非鉄	9社
金属製品	24社
一般機械器具	22社
電気機器	17社
輸送用機器	9社
精密機器	8社
縫製	8社
計	103社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



- 概要(総合)
- ・生産高(前年同月比)DIは(▲11.7)で前回(6.1)から17.8ポイント減の大幅悪化となった。
 - ・受注単価DIは(▲23.3)で前回(▲28.6)から5.3ポイント増の良化となった。
 - ・稼働状況DIは(▲5.8)で前回(7.1)から12.9ポイント減の大幅悪化となった。
 - ・資金繰りDIは(▲2.9)で前回(▲5.1)から2.2ポイント増の良化となった。
 - ・3ヶ月後の予想DIは生産高が(▲10.7)で1.0ポイント増、受注単価は(▲17.5)で5.8ポイント増の良化、稼働状況が(▲15.5)で9.7ポイントの減で大幅悪化、資金繰りは(▲9.7)で6.8ポイント減で悪化という予想になった。
 - ・円安による原材料の高騰、消費税増税などによる諸経費の負担増加の影響が大きく、良化の動きは見られない。今後も厳しい環境が続くと予想される。